

～新型コロナウイルス感染症対策～

## 接待を伴う飲食店の感染防止策を強化します

横浜市では、第2波に備えた予防対策・準備として、立入検査等のクラスター対策を強化するため、医師と保健師等による疫学調査チーム（Y-AEIT（ワイエイト）※）を設置し、陽性者が出た場合には、関係者のPCR検査を幅広く、積極的に行うとともに、感染予防策の改善指導等を進めています。

首都圏において、接待を伴う飲食店に関連して新型コロナウイルスの感染拡大が見られる中、社会経済活動を行いながら、安心して暮らせる街を目指して、接待を伴う飲食店の従業員を対象とした検査を積極的に進め、感染防止策を強化します。

### 1 概要

次の申込要件を満たして、申込した「接待を伴う飲食店」（神奈川区、西区、中区）従業員の新型コロナウイルス感染症のPCR検査を実施します。

#### 【申込要件】

- ・概ね1週間以内に従業員の中に症状\*がある人がいる  
（※咳、くしゃみ、鼻水、発熱、味やにおいがわからない）
- ・検査を受けるために、店舗へ集まることができる
- ・検査を受ける人は、検査結果が判明するまで自宅待機を厳守する
- ・陽性者が出た場合、保健所とともに感染防止対策に取り組む

検査の検体採取は、申込した店舗の代表者と調整し、横浜市の疫学調査チーム（Y-AEIT（ワイエイト）※）が店舗に出向いて行う予定です。

（なお、検査を受ける従業員が少ない場合は、個別に調整させていただきます。）

#### ※Y-AEIT

「Yokohama Active Epidemiological Investigation Team（横浜 積極的 疫学 調査 チーム）」の略  
新型コロナウイルス感染症等の疫学調査チームとして、横浜市健康福祉局健康安全課に設置し、実地疫学感染症専門の医師、保健師等で構成されています。

医療機関や高齢者施設等で施設内感染が確認された際に、早期に立入調査し、感染経路の究明、感染拡大防止のための指導等を行います。

### 2 実施期間

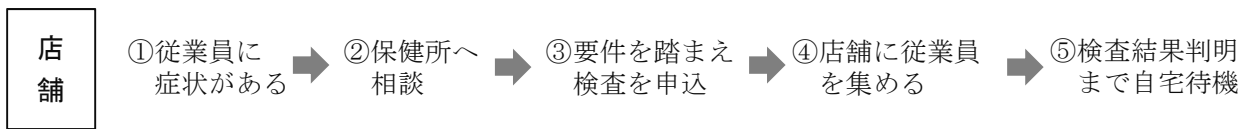
令和2年7月16日から当面の間※

※市内の陽性患者発生動向により終了日を判断します。

（7月16日以降、順次、3区（神奈川区、西区、中区）の対象店舗にご案内を発送します）

裏面あり

### 3 検査までの流れ



従業員の中に陽性の人が出た場合、原則として、陽性の方は入院又は施設療養、陰性の方は14日間の自宅待機となります。

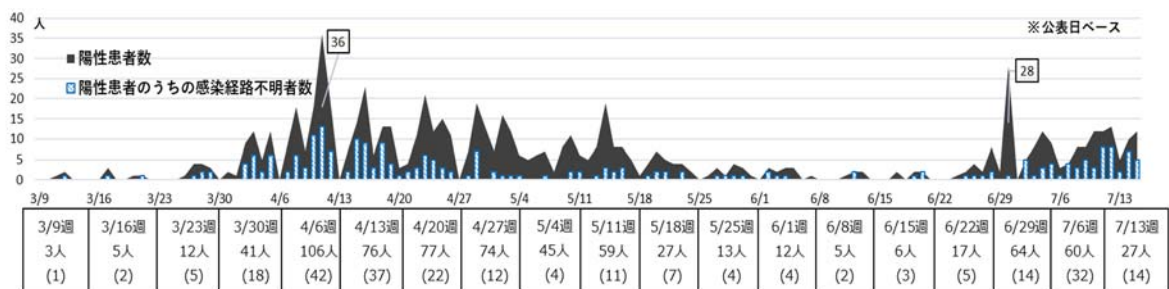
### 4 Y-A-E-I-T (ワイエイト) の対応状況

- ・6月下旬、市内のホストクラブにおいて2名の陽性者が確認されたため、店舗の協力を得て、全従業員を検査するとともに、濃厚接触者となった来店者へのPCR検査・健康観察を実施しました。
- ・クラスター化する前に、早期に感染の広がりを把握するため、陽性者が確認された社会福祉施設や学校における幅広い検体採取なども行っています。

#### 【参考】市内の患者発生状況（7月15日時点）

(1) 陽性患者の発生件数：736人（退院等：607人）

うち感染経路が不明な方（下段カッコ内）：241人



※（ ）内は経路不明者数速報値。今後、疫学調査により感染経路不明者の数変動する可能性あり。

(市内の発生状況)

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryu/yobosesshu/kansensho/coronavirus/kanja.html>

#### (2) 感染者の状況

入院中				入院中 計	宿泊療養 計	自宅療養等 計	退院等	死亡	非公表	合計
重症	中等症	軽症	無症状							
4	7	29	3	43	19	20	607	46	1	736

#### お問合せ先

健康福祉局健康安全課長

船山 和志 Tel 045-671-2442